

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

1	事業名	男女共同参画推進のための講座等の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。	
事業の実施内容				
オンライン講座「聞いて納得！よくわかる、ジェンダー平等」2回連続講座 ・10/8【1回目】「ジェンダー知らなきゃヤバイ時代がやってきた！」(参加者:36人) ・10/22【2回目】「日常のなかのジェンダーを考える！人はフェミニストになる」(参加者:21人)				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 参加率 【目標】 80% 【実績】 95%			【成果指標】 満足度 【目標】 80% 【実績】 93%	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
1回目:募集30人、参加者36人、(女33人、男3人)内WEB参加33人 2回目:募集30人、参加者21人、(女18、男2人、その他1人)内WEB参加17人			アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「日常の何気ない会話から問題意識を持ち、切り返すための言葉を持つことの大切さに改めて気づいた」「刑法に関する話は、敬遠しがちだが、易しい解説が良かった」などの感想があり、日本が抱えるジェンダー問題の理解促進を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		ジェンダー平等について内容をよく理解していない人に向けて、日本の現状とジェンダー平等社会実現の必要性をわかりやすく解説。行動変容へとつながるキッカケを提供できた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

2	事業名	男女共同参画情報誌の発行	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的			手段	
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。			年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。	
事業の実施内容				
情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第51号(7/1発行)「パートナーシップ制度と多様な性のかたちを認めるまちづくり。」では、「パートナーシップ制度」の動向とこれからのためのインタビュー記事を掲載。第52号(2/1発行)「なぜ女性議員が増えないの？「オトコ」中心の政治を変えよう！」では、越谷市議会女性市議にアンケート調査をし、女性議員が増えない現状についての回答結果を掲載。				
活動実績			取り組みの成果	
【活動指標】 発行部数 【目標】 26,000部 【実績】 26,000部			【成果指標】 【目標】 — 【実績】 —	
【達成度】 5(十分に達成できた)			【達成度】 5(十分に達成できた)	
第51号・第52号:各部13,000部			市の施設などで配布、自治会の回覧やホームページ掲載などにより、多くの市民に届けることができた。市民の意識啓発、理解促進を図ることができた。	
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		年2回発行。各号とも作成におけるテーマ検討等、確認作業を行って発行に至っている。		
<R3年度評価> A				
認識した課題			課題解決に向けた対応	
特になし。			引き続き、適切に事業を実施する。	

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

3	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。		メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。		
事業の実施内容				
・9/3「わたしたちはなぜ韓国ドラマにハマるのか?ジェンダー視点から考える」(参加者:43人) 話題の韓国ドラマを取り上げ、韓国ドラマに描かれた女性表象を分析し、ジェンダーの視点から解説。メディアから発信される情報を主体的に読み解く能力を高める講座を実施した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 1回		【目標】 —		
【実績】 1回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
・募集30人、参加者43人(女38人、男5人)		話題の韓国ドラマを取り上げ、そこに描かれた韓国の歴史や時代背景、家族問題や女性表象をジェンダーの視点から解説・分析することで、見えにくいジェンダー問題を身近に感じ、男女共同参画の理解を深める一助となった。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

4	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。		
事業の実施内容				
①6/24~「七夕フェスタ」講座案内&「気軽に学ぼう!ジェンダーかるた」②9/30~「トランスジェンダーのリアル」③10/7~「未来をひらくあなたに」④11/29~「せつっ男女共生防災かるた」⑤11/14~「パープルライトアップ」⑥12/15~「パープルリボン・タペストリー」⑦3/3~「国際女性デー」				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 7回		【目標】 —		
【実績】 7回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
		男女共同参画の啓発や「ほっと越谷」の実施事業に関するさまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や市庁舎ロビー展示することにより、男女共同参画について市民の理解を深めることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

5	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容				
①10/12~25大沢地区センター「トランスジェンダーのリアル」パネル展示、②12/8~14大沢地区センター「せつつ男女共生防災かるた」パネル展示、③「ままマルシエdeえほん(大型)読み聞かせ」12/16【1回目】(参加者:20人) 2/17【2回目】(参加者:20人) 3/17【3回目】(参加者:22人)、④2/5児童館コスモス「たのしくまなぶ、ぼうさい・げんさい」(参加者:13人)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 6回		【目標】 —		
【実績】 6回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
①②パネル展示 参加者75人(③62人④13人)		積極的に出向いて講座等を行うことで、多くの人に気づきや学びの機会を提供し、市民の理解を深めることが出来た。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		地区センターや地域の活動団体の事業などに出向き、男女共同参画の啓発を行うことができた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

6	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容				
・6/21~7/3「第21回七夕フェスタ」開催 ・6/25「オープニングセレモニー」(参加人数:311人) ・6/21~7/3「登録団体による企画展示」・6/26~7/3「登録団体による企画講座」(参加人数:313人) ・7/2「夕焼けコンサート」(参加人数:70人)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加団体数(延べ)		【成果指標】		
【目標】 125団体		【目標】 —		
【実績】 169団体		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
七夕フェスタ:第1回実行委員会42団体、第2回実行委員会35団体、第3回実行委員会31団体、企画講座15団体、企画展示24団体、交流会22団体		登録団体が主体となりテーマを決め、登録団体の活動をパネル展示で紹介したり、テーマに沿った講座を実施することで男女共同参画の推進を図ることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		準備に約3ヶ月超、登録団体との協働作業が「ほっと越谷」との関係を強くし、各団体同士、活動への理解が進み、連携を深めることができた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

7	事業名	市民との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。		公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。		
事業の実施内容				
①11/10～24ブックフェア「現在、私とあなたに寄りそう本」②1/29ブックサロン「現在、私とあなたに寄りそう本」(参加者:16人) 公募による市民企画委員との協働で計6回企画委員会議を行い実施した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施事業数		【成果指標】		
【目標】 2回		【目標】 —		
【実績】 2回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
ブックサロン募集15人、参加者16人(女14人、男2人)		企画委員が企画打合せから振り返りまで計6回の委員会を実施。男女共同参画に関する本を紹介し、またこの企画の意見交換会を開催。来所者が実際に本を手に取り、男女共同参画の理解を深めることにつながった。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		「さまざまな方の体験や意見を聴くことができ、自分の考えを振り返るきっかけになった」「どんな本が紹介されるか、興味の持てる企画であった」などの感想があった。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

8	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。		
事業の実施内容				
・12/17「ヒューマンライブラリー」(参加者:22人) ・2/4「外国にルーツを持つ子どもたちの現状」(参加者:31人) ・2/16、3/2「自己肯定感を育てる子育て」(参加者:48人)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 協働で開催する講座数		【成果指標】 満足度		
【目標】 4回		【目標】 80%		
【実績】 4回		【実績】 88%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
書類選考、プレゼンテーションにより3団体、4講座決定。		アンケートの満足・ほぼ満足の合計 3登録団体 4講座それぞれ身近には存在していたり、経験したことがある内容であっても「知らなかった」「知れてよかった」などの感想が共通して見られ、普段「ほっと越谷」の事業だけでは補えない分野での高い学びを提供できた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		担当者企画会議や講座の実施を通して、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

9	事業名	男女共同参画に関する図書の貸出し	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画に関する図書の貸出しを実施する。		
事業の実施内容				
男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。ブックフェアの開催により、所蔵図書の紹介・利用促進を行なった。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 利用者数(延べ)		【成果指標】		
【目標】 510人		【目標】 —		
【実績】 415人		【実績】 —		
【達成度】 4(概ね達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
・利用者415人(女382人、男33人) ・貸出冊数577冊		開催講座やテーマに沿ったブックフェアを開催し、「ほっと越谷」ホームページでその様子を周知することで関連講座への集客を図りさまざまな機会に紹介したり、小説やコミックス等中高生にも手に取りやすいラインナップを揃え、利用促進に繋げることができた。		
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

10	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物等を作成することがないよう意識啓発を図る。		ジェンダーの視点を踏まえた刊行物等作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物等が作成されているかを定期的に確認し、各課所に通知する。		
事業の実施内容				
リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市が発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3カ月に1回掲示板で報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 チェックした刊行物等の数		【成果指標】		
【目標】 60種類		【目標】 —		
【実績】 60種類		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
毎月5種類×12カ月		性別による固定的イメージが含まれることのないよう配慮している課所が多数見受けられ、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高まっていると思われる。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の充実

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

11	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。		広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等を用いて苦情処理委員の周知を行う。		
事業の実施内容				
年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、二十歳のつどいの参加者に制度を紹介するチラシを配付した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 広報紙やホームページ等でPRする回数		【成果指標】		
【目標】 3回		【目標】 —		
【実績】 3回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
①越谷市ホームページ②「みてみてほっと越谷」52号(2月)③二十歳のつどい参加者にチラシを配付(3,200部)		さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
令和4年度は苦情の申し出がなかったが、男女共同参画を妨げる事案は未だ存在しているため、今後も積極的に制度の周知を図っていく必要がある。		今後も積極的に周知を行う。		

12	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	所管課所	人事課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。		男女共同参画に関する研修を実施する。		
事業の実施内容				
新採用職員及び監督職員(主幹級)を対象に、男女共同参画に関する研修を実施した。(新採用職員研修は4/4~4/6で実施、監督職員(主幹級)研修は5/13に実施)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 男女共同参画に関する研修の受講者数		【成果指標】 理解度		
【目標】 —		【目標】 100%		
【実績】 201人		【実績】 88%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
①新採用職員研修(4/1付採用):男性69人、女性80人 ②監督職員(主幹級)研修:男性24人、女性28人		アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計 人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは、「理解できた」、「概ね理解できた」や「今後の業務の参考になる」といった回答が多数を占めた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (2) 性の多様性に関する理解の促進と支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

13	事業名	性の多様性の理解促進に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市民に、性の多様性の理解を促すとともに、互いに尊重し合う意識の啓発を図る。		性的少数者への理解を深める講座を開催する。		
事業の実施内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・10/1「知ってほしい多様な関係性のこと～恋愛しないとダメですか?～」(参加者:37人) ・多様な性についての情報を提供。 ・性的少数者に対する理解を促し、共生社会の重要性を伝える。(LGBTQに対しての理解者を増やす) 				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加率		【成果指標】 理解度		
【目標】 80%		【目標】 80%		
【実績】 100%		【実績】 93%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
募集30人、参加者37人(女27人、男10人)		アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計「恋愛的、性的に惹かれない方への理解が深まった」「今まで受けたLGBT講座の中で一番分かり易かった。」「自分自身にも偏見がある中で様々な性の在り方が在ることを今までよりも深く考えることができてよかった。」などの感想があった。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		当事者の話を直接聞くことにより、市民に性的少数者に関する知識や性の多様性についての理解を深める場を提供することができた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

14	事業名	性的少数者への理解促進のための職員研修の実施	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市職員が性的少数者への正しい理解と認識を深め、窓口等において、配慮した対応ができるよう、意識啓発を図る。		性的少数者への理解を深める研修を実施する。		
事業の実施内容				
性的少数者を講師に招き、全ての課所の職員を対象とし、性的少数者への理解促進のための研修を実施した。 講師:レインボーさいたまの会				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 受講者数		【成果指標】 理解度		
【目標】 45人		【目標】 100%		
【実績】 64人		【実績】 97%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
		研修後の受講者アンケートでは、「当事者から具体的な話を聞いて理解が深まった」「行政として誠実に向き合って理解に努めなければと思った」等の回答があった。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (2) 性の多様性に関する理解の促進と支援

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

15	事業名	性的少数者への理解促進のための啓発	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
市内事業者への性的少数者への正しい理解を深めるため、意識啓発、理解促進を図る。		性的少数者への理解を深めるリーフレットを市内事業者へ配付する。		
事業の実施内容				
リーフレット「正しく知ろう 多様な性 LGBTQ+のこと」を市内事業者(5,500部)と、市内の中学校・高校・大学等に配付した。(370部)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 リーフレットの配付回数		【成果指標】		
【目標】 1回		【目標】 —		
【実績】 2回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
①越谷商工会議所に登録している市内企業(約5,500社) ②市内中学校・高校・大学等(34校)		啓発リーフレットを配付することで、性的少数者への理解を促すことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画社会形成のための意識啓発
 取り組みの方向 (3) 国際理解の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

16	事業名	国際的な動向についての情報提供	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容				
男女格差を示す国際的指数である「ジェンダーギャップ指数」のほか、日本における女性の参政権獲得への歴史について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携してパネルを作成し、市役所ロビーでパネル展を開催した。(3/6～3/10)				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実施回数		【成果指標】		
【目標】 1回		【目標】 —		
【実績】 1回		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
		世界の国々と日本の男女共同参画の現状や日本女性の参政権獲得への歴史をまとめ、考えてもらう機会を提供することにより、市民の意識啓発・理解促進を図ることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)		今回は日本における女性参政権獲得へのあゆみについて取り上げ、より関心を高めることができた。		
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標	I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	【達成度】
施策の方針	2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進	5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
取り組みの方向	(1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進	4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
		3 (達成まで今一歩) : 目標値の60%以上80%未満
		2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

17	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	所管課所	男女共同参画支援センター
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。		保護者に向けて、性別による固定的な役割分担意識にとらわれない子育てなど、ジェンダーの視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。		
事業の実施内容				
・1/28オンライン講座「性別にとらわれない子育ての必要性」(参加者:20人) 漫画やアニメ、インターネット、幼稚園や学校、家庭、社会で、無意識に刷り込まれていく性別役割について知り、固定的な役割分担意識にとらわれない子育てについて学ばせて実施した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加率		【成果指標】 満足度		
【目標】 80%		【目標】 80%		
【実績】 67%		【実績】 91%		
【達成度】 4(概ね達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
募集30人、参加者20人(女15人、男5人)内WEB参加18人		アンケートの満足・ほぼ満足の合計 「資料がしっかりしていて、あっという間であった」「講師の先生の話が色々な研究やご自身の体験を交えて分かりやすく、実践的で良かった」などの感想があった。		
事業の評価				
B(概ね順調に取り組んでいる)		性別による固定的な役割分担が引き起こす問題点や、その解消方法について弁護士である立場からさまざまなデータをもとに具体的に説明され、オンライン参加者の興味・関心や気づきを提供することができた。		
<R3年度評価> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

18	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容				
市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学3年生、中学1年生の保護者全員に家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配付するとともに、ホームページに掲載した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 配付部数		【成果指標】		
【目標】 —		【目標】 —		
【実績】 10,270部		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
4歳児クラス3, 650部、小学3年生3, 445部、中学1年生3, 175部		対象となる全ての保護者に配付することができ、保護者の男女共同参画の意識啓発を促すことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

19	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。		市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容				
男女共同参画に関する理解をさらに深めるため、市立小中学校すべての教職員に男女共同参画リーフレットを配付するとともにホームページに掲載した。 今回は、DVIについて取り上げた。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 配付部数		【成果指標】		
【目標】 —		【目標】 —		
【実績】 1,670部		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
		対象となる教職員全員に配付でき、教職員への男女共同参画に関する意識啓発を促すことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

20	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	所管課所	人権・男女共同参画推進課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
できるだけ早い時期から男女共同参画の考え方を理解するよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。		
事業の実施内容				
市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子どもリーフレットを配付するとともに、ホームページに掲載した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 配付部数		【成果指標】		
【目標】 —		【目標】 —		
【実績】 3,468部		【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 4(概ね達成できた)		
小学6年生及びその学級担任に配付した。		市立小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子どもリーフレットを配付することで、男女共同参画意識の早期形成を促すことができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		引き続き、適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画視点を踏まえた教育の推進

【達成度】
 5 (十分に達成できた) : 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた) : 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步) : 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分) : 目標値の60%未満

21	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容				
性的マイノリティやアンコンシャスバイアスなどについて、国立女性会館の飯島先生を講師に迎え、御講義をいただいた。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 参加人数 【目標】 44人 【実績】 44人		【成果指標】 理解度 【目標】 100% 【実績】 100%		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
越谷市内小中学校44校すべての学校が研修会に参加した。		アンケートの理解できた・ほぼ理解できたの合計参加者全員の記述から男女共同参画についての意識が高まり、理解の促進を図ることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
研修で得た内容を各校の教職員にさらに周知できるよう支援をする。		人権教育校内研修の際に本研修の資料を活用して、周知できるよう各校管理職及び参加教職員に周知する。		

22	事業名	キャリア教育の推進	所管課所	指導課
男女共同参画の視点からの事業目的		手段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとらわれないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。		キャリア教育を実践するため、中学校ではさまざまな職業についての調査・体験、小学校では地域の方との交流などを行う。		
事業の実施内容				
小中学校の総合的な学習の時間及び特別活動の授業等において、「進路教育・キャリア教育」の推進を図った。市内全中学校で行っていた職場体験については、令和3年度以降、各校の工夫に応じて、「地域の職業人による講演や授業」「身近な大人への職業インタビュー」を実施している。また、自分らしい生き方を実現するため、キャリア・パスポートを活用した。				
活動実績		取り組みの成果		
【活動指標】 実践校数 【目標】 44校 【実績】 44校		【成果指標】 実践校数 【目標】 — 【実績】 —		
【達成度】 5(十分に達成できた)		【達成度】 5(十分に達成できた)		
		地域、家庭と連携を図りながら、授業等で「キャリア教育」の推進を図ることで、児童生徒が自己理解を深め、自分らしい生き方につなげることができた。		
事業の評価				
A(順調に取り組んでいる)				
<R3年度評価> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
児童生徒が将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するため、キャリア・パスポートをより充実させる必要がある。		市内各中学校区で、地域の特性を生かしたキャリア・パスポートを活用できるよう、確認、見直しをしていく。		